

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和2年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨	所管課	産業労働部 産業政策課
所在地	甲府市大津町2192-8	設置年月日 (改築年月日等)	平成7年7月7日
管理方式	公益財団法人やまなし産業支援機構		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨設置及び管理条例		
設置目的	産業に関する製品の展示等を通じ、情報、技術、文化等の交流を促進し、もって本県における地場産業の振興及び文化の向上を図るため、産業展示交流館を設置する。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積 25,760.6㎡ (第2・3駐車場は含まない) ○建築延面積 9,945.9㎡ ○建物の構造 鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造、地上4階建て ○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・貸出用施設 <ul style="list-style-type: none"> 1階 屋内展示場 4,860㎡ 4階:会議室 212㎡ 屋外展示場 1,080㎡ 冷暖房設備付・エレベーター1基付 ・駐車場 <ul style="list-style-type: none"> 第1駐車場(構内) 4,300㎡(250台収容) 第2駐車場(東側隣接地)12,383㎡(470台収容) 第3駐車場(NEC西側) 8,638.3㎡(430台収容) 		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 利用の承認に関する業務 (2) 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<ul style="list-style-type: none"> (1) セレス甲府 (2) 甲府市総合市民会館
------------------------------	--

3 利用状況

単位:件、%

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (目標値)
利用 件 数	イベント主催者利用件数	86	87	37	49
	利用件数合計	86	87	37	49
	目標値	88	82	73	49
	目標値設定の考 え方及びその理由	リピーター 30% 新規 8%	リピーター 28% 新規 7%	リピーター 25% 新規 6%	リピーター 20.7% 新規 2.3%
対平成30年度比		101.2%	43.0%	57.0%	
利用率	40.3%	35.1%	10.8%	23%	

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)	令和2年度 (実績値)	令和3年度 (計画値)
収 入	施設利用料	114,658,345	66,837,000	32,431,720	66,837,000
	指定管理者委託料		26,787,000	38,922,234	17,796,000
	その他	2,307,650	5,411,000	4,864,031	5,411,000
	収入合計(A)	116,965,995	99,035,000	76,217,985	90,044,000
支 出	人件費	21,214,290	19,945,000	25,864,916	19,945,000
	県への納付金	8,108,850	294,000	294,400	294,000
	管理運営費	78,157,534	78,796,000	63,287,649	69,805,000
	うち外部委託費(B)	21,250,137	21,835,000	21,401,847	21,835,000
	支出合計(C)	107,480,674	99,035,000	89,446,965	90,044,000
収支差額(A-C)	9,485,321		△ 13,228,980		
外部委託比率(B÷C)	19.8%	22.0%	23.9%	24.2%	
一件当たりの収入額	1,344,436.7	989,698.6	942,797.1	1,474,449.0	

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期: 令和2年6月～令和3年3月 実施方法: 利用者(イベント主催者)へのアンケート 回答数: 37人(回収率100%)
-------	---

単位: %

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設や設備の状況	97.0%	3.0%		
②施設のサービス提供	97.0%	3.0%		
③職員・スタッフの対応	97.0%	3.0%		
④施設全体の満足度	97.0%	3.0%		
⑤再度利用希望	70.0%	30.0%		
施設全般の満足度	97.0%	3.0%		

利用者の意見	次の2点の質問があった。 ①イベントを開催するにあたり、コロナ禍でどのような対策をすれば良いか。 ②また、キャンセル規定はどのようなものか。
利用者の意見への対応	全ての利用者に対して、 ①感染拡大予防対策ガイドライン(コロナ禍の対策)の周知を図り、対策の徹底をお願いした。 ②アイメッセ山梨利用規程(キャンセル料の取扱い)の説明を行い、理解を得て開催が行われた。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>各業務ごとに年間契約による保守管理点検業務を行った。</p> <p>法定点検やその他施設・設備維持管理業務のマニュアルを整備し、維持管理の向上に努めた。さらに利用者の利便性向上のため、各種修繕の充実、備品の購入整備を行った。</p> <p>感染拡大予防対策ガイドラインに則り維持管理業務を行った。</p>	<p>施設の維持管理については、アイメッセ山梨管理業務仕様書に基づき概ね適正に実施されている。</p> <p>施設の経年劣化に伴い、不具合が生じている箇所もあるが、法定点検や日常点検を実施し適正に執行されている。</p> <p>引き続き、利用環境の維持や利用者の安全を確保し、適切な施設管理に努めること。</p>
運営業務	<p>感染拡大予防対策ガイドラインに則り、入館者の受付管理、消毒液の設置、マスク着用、サーマルカメラの設置、飛沫防止衝立、利用後の備品消毒など感染予防対策に努めた。</p> <p>利用者には、感染拡大予防対策ガイドラインの周知を図り、感染対策の徹底を図ってもらった。</p> <p>また、設営、清掃、警備、飲食、宿泊施設の紹介やイベント時の各種届け出の助言などを行い、利用者の利便性・満足度の向上に努めた。</p>	<p>業務計画書に基づき、概ね適正に実施されている。</p> <p>令和2年度は4月当初から、新型コロナウイルス感染拡大防止のため施設の休館等を行ったが、感染拡大予防対策ガイドラインを策定し、6月26日から開館している。今後も感染症対策の徹底と利用者への周知を図り、利用者が安心して利用できる施設運営を行うこと。</p>
利用状況	<p>令和2年度の展示ホール利用状況について、延べ利用件数は37件(前年度比-50件)、全面換算での延べ利用日数は37.4日(前年度比-83.6日)、利用率は10.8%(前年度比-24.3ポイント)で、目標値31%を下回った。</p> <p>令和2年度は、山梨県からの要請を受け4月20日(月)~6月25日(木)を臨時休館とした。開館後、感染拡大防止対策ガイドラインを元に感染症防止対策・周知を行ったが、7月以降も展示会・イベント等の開催延期が多く、昨年を大きく下回る結果となった。</p>	<p>令和2年度の利用状況は、施設の休館等や利用自粛の影響を受け、目標値を大きく下回る結果となった。</p> <p>今後の利用率回復に向けて、感染症対策の徹底と利用者への周知を図りつつ、コロナ禍における展示会の運営手法の提案や、ライブ配信会場・試験会場・eスポーツ会場等、コロナ禍に対応可能な会場として利用促進を図り、新規利用者及びリピーターの確保に努めること。</p>
収支状況	<p>令和2年度における収支状況は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による休館及び利用自粛により大変厳しい状況となった。</p> <p>後半に向けては、感染拡大予防対策ガイドラインの周知などの成果もみられ、3件の新規利用や撮影等の利用があったが、最終的には施設利用料収入が前年度実績比約72%減と大幅な減少となった。</p>	<p>県では令和2年4月及び5月の休館期間の減収分に対し、納付金を減額し、なお不足する分について委託料の支払を行った。さらに令和2年6月の開館以降分に対し、超感染症社会に対応した施設運営の見直しを行い、令和2年度から令和4年度までの委託料の支払を行う協定を締結した。</p> <p>アイメッセ山梨は本来であれば、利用料収入による運営が可能な施設であるため、積極的な情報収集や、感染症に対応した会場利用方法の提案等により、利用料収入の回復に努めること。</p>

<p>自主事業</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自主企画事業は中止とした。 (旅行代理業務による宿泊、飲食、設営等の各種業務の手配を一括で行うワンストップサービスは実施)</p>	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自主企画イベントを中止したが、自主事業は施設の利用率を向上させると共に、施設の設置目的にも貢献するため、利用者満足度及び利用率向上に繋がるサービスを提供できるよう、適正な自主事業の運営に努めること。 また、アイメッセ山梨独自の取り組みであるワンストップサービスについては、利用者のニーズに応じた内容充実を図り、更なる利便性の向上を期待する。</p>
<p>利用者満足度</p>	<p>施設全般の満足度調査で、アンケート回答のすべての利用者から「満足」「どちらかと言えば満足」との評価をいただいた。今後も、アンケート調査の実施や利用者への積極的な声かけ等により、生の要望を集め、満足度の維持・向上に努めていく。 また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策については、具体的な説明を行い利用者から協力が得られた。引き続き利用者が安全・安心に利用できるよう努めていく。</p>	<p>利用者の満足度は高く、利用者からの質問に対しても適切に対応していた。引き続き、利用者のニーズの把握に努め、満足度の向上を目指すこと。</p>
<p>運営目標の達成状況</p>	<p>令和2年度における展示ホールの利用状況は、前年度実績に比べ、利用件数、換算利用日数、利用率全てにおいて昨年を下回った。延べ利用件数は37件(前年度比-50件)、全面換算での延べ利用日数は37.4日(前年度比-83.6日)、利用率は10.8%(前年度比-24.3ポイント)で、目標値31%を下回った。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため山梨県がイベント自粛要請を行ったことで、アイメッセ山梨は令和2年2月27日から施設の休館等を行い、感染拡大防止対策ガイドラインの策定をもって令和2年6月25日に施設の使用停止等の協力要請が解除されたが、施設開館後も7月初旬まで利用がなかった。 感染症防止対策・周知を行ったが、7月以降も主催者側によるイベント自粛により展示会・イベント等の開催延期が多く、昨年を下回る結果となった。</p>	
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設の維持管理については、施設の老朽化が進んでいることから、施設全体の設備等の不具合状況を把握し、県との情報共有を図ること。 利用率については、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため7月初旬まで利用者がなかったが、後半に向けては3件の新規利用や撮影等の利用があった。開館以降の積極的な営業や、感染拡大予防対策ガイドラインの周知の成果によるものと思われる。引き続き感染症対策の徹底と利用者への周知を図りつつ、コロナ禍に対応可能な会場として利用促進を行い、新規利用者及びリピーターの確保と利用率の回復に努めること。 また、アイメッセ山梨独自のワンストップサービス(旅行代理業務による宿泊、飲食、設営等の各種業務の手配を一括で行う取り組み)については、利用者のニーズに応じた内容充実を図り、更なる利便性の向上を期待する。</p>	
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>施設の維持管理について、施設全体の設備等の状況を把握するため、内部での調査を進めている。 令和3年度にやまなしグリーン・ゾーン認証施設へと移行し、感染症対策を更に強化した。引き続き感染症対策の徹底と利用者への周知を行い、新規利用者及びリピーターの確保に努め、施設の利用率向上に向け、積極的に営業強化を行っていく。</p>	

7 管理体制(組織図)

令和2年4月1日現在

